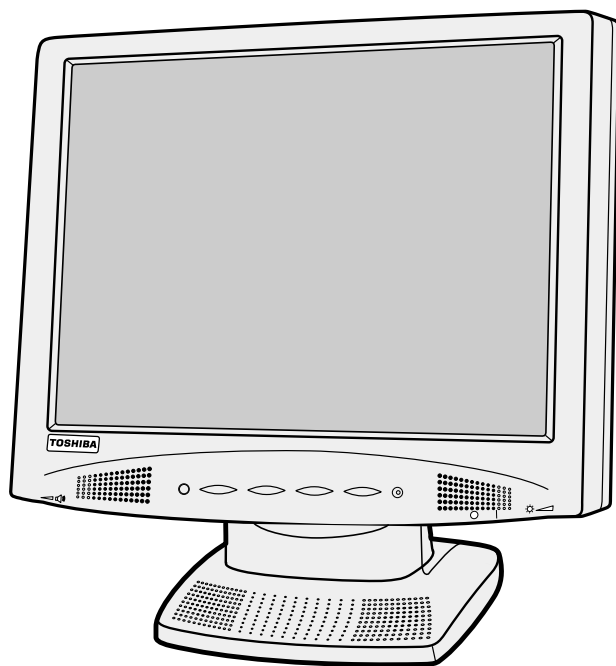


TFT液晶ディスプレイ18.1型-B TOSHIBA

品番 IPC5033B

取扱説明書

この度は、TFT液晶ディスプレイ18.1型-Bをお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書は、「TFT液晶ディスプレイ18.1型-B」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。また、お読みになった後もいつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上のご注意」と本書の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。


本書をお読みになった後は、本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。


その表示と図記号の意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使い方をご指導ください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** “誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があること”を示しています。


 **注意** “誤った取り扱いをすると、人が傷害^{*1}を負う可能性、または物的損害^{*2}のみが発生する可能性のあること”を示しています。

*1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。

*2：物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

 この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。
具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

 この図記号は必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。
具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

免責事項について








地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

警告

-  **異常が起きたときは電源プラグをコンセントから抜くこと。**
万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店、または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因になります。
-  **表示された電源電圧以外の電圧で使用しないこと。**
火災・感電・故障の原因になります。
-  **開口部に金属類や燃えやすいものを差し込まないこと。**
万一、異物が入ったときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
-  **使用中、本体の通風口をふさがないこと。**
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
-  **水などで濡らさない。**
万一、水などが入ったときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店、または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
-  **分解、改造、修理はしないこと。**
火災・感電・故障の原因になります。
修理は、お買い求めの販売店、または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」にご依頼ください。
-  **湯気が当たる場所や湿気の多い所に置かないこと。**
調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災・感電・故障の原因になることがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

- ⚡ **もし落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。**

そのまま使用すると、火災・故障のおそれがあります。

点検は、お買い求めの販売店、または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」に点検をご依頼してください。

- ⚡ **電源プラグは、刃にほこりが付着していないか確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと。**

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電・故障の原因になります。

- ⚡ **電源プラグは、AC100Vコンセントに差し込むこと。**

それ以外のコンセントに差し込むと、火災のおそれがあります。

- ⚡ **電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込むこと。**

確実に差し込んでいないと、火災・感電のおそれがあります。

- ⊘ **雷が激しいときは、電源プラグにさわらないこと。**

火災・感電の原因になります。

- ⊘ **コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしないこと。**

タコ足配線などで定格をこえると、火災・感電のおそれがあります。

- ⊘ **付属以外のACアダプタやACコードを使用しない。また、付属のACアダプタやACコードを本機以外に使用しないこと。**

付属以外のACアダプタやACコードを使用すると、電圧や+、-の極性が異なることとなるため、火災・感電・故障の原因になります。

- ⊘ **ACアダプタを布でおおったり包んだりしないこと。**

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

- ⊘ **電源コードを取りあつかうときは、次の点を守ること。**

- ・傷つけない
- ・コードをつぎ足さない
- ・ドアにはさまない
- ・強くまげない
- ・ねじらない
- ・余ったコードを束ねない
- ・引っ張らない
- ・机、家具等を乗せてつぶさない
- ・加熱しない
- ・クギやステーブルで固定しない
- ・熱器具を近づけない
- ・加工しない
- ・物を乗せない

守らないと、火災・感電のおそれがあります。

もし、電源コードが傷ついたときは、お買い求めの販売店、または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

⚠ 注意

- ⊘ **ステーブルやクリップなどの金属類を内部に入れないこと。**
ショートし、発煙、発火のおそれがあります。

- ⊘ **ぐらつく台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないこと。**
落ちたり、たおれたりして、ケガをするおそれがあります。

- ⊘ **電源を入れた状態で、あお向け、横たおし、逆さまにして、使用しないこと。**

内部に熱がこもり、発火のおそれがあります。

- ⊘ **画面を下にして置かないこと。**

画面を破損し、けがをするおそれがあります。

- ⚡ **移動したり、持ち運ぶ前に、電源コードと信号ケーブルを取りはずすこと。**

取りはずさずに移動したり持ち運ぶと、ディスプレイが落ちて、けがをするおそれがあります。

- ⊘ **ぶら下がったり、上に乗らないこと。**

ディスプレイがたおれたり、落ちたり、破損すると、けがをするおそれがあります。

- ⚡ **車（キャスター）付きの台に置いたときは、キャスターが動かないように固定すること。**

固定しないと、台が動いてディスプレイがたおれたり、落ちたりし、けがをするおそれがあります。









- ⊘ **雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用しないこと。**

雨、きりが付着して、火災、感電のおそれがあります。


- ⊘ **通電中のACアダプタに長時間ふれないこと。**

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどのおそれがあります。肌の弱い方は、特にご注意ください。

安全上のご注意

-  長時間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。
火災の原因になることがあります。
-  お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。
感電の原因になることがあります。
-  移動させるときは、電源プラグや接続ケーブルをはずすこと。
接続ケーブルが傷つき、火災・感電・故障の原因になることがあります。
-  電源コードを抜くときには、必ず電源プラグ部を持って抜くこと。
コードを引っ張ると、コードが傷つき火災・感電・故障の原因になることがあります。
-  ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。
聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
-  電源ONの時は、接続ケーブルを抜かないこと。
正常な動作をしなかったり、機器が損傷するおそれがあります。
-  炎天下の車中に、長時間放置しないこと。
高熱により、キャビネット等が、変形、溶解する原因となる場合があります。
-  ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
感電の原因になります。

液晶ディスプレイについて

-  破損して内部の液が皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けること。
目に入ったときは、障害を起こすおそれがあります。

ご使用上のお願い

本機を正しくお使いいただくために、次の注意事項を必ず守ってください。
取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

■ 本体の取り扱いと使用環境、および保管場所について

直射日光が当たる場所、暖房機器の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。
使用できる環境は次のとおりです。

温度：5 ～ 35

湿度：30%～85%Rh

極端に低温になるところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

急激な温度変化を与えないでください。

結露が生じ、故障、誤動作の原因となります。

結露が生じたときは、室内に置き自然乾燥させてから、電源を入れてご使用ください。

磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

ほこりの多いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。内部にほこりが入ったときは、販売店にご連絡ください。

振動が強いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質、変形、変色の原因となります。

ぬれた布で画面をふかないでください。

故障の原因となります。

製品の上に物をのせたり、物を落としたりしないでください。

破損、故障の原因となります。

本製品を長時間使用する場合は、健康のために、定期的に休みを取り、目や筋肉をリフレッシュさせてください。

目などの疲労防止のため、次の使用環境をお守りください。

・表示画面の位置が目の高さよりやや低くなり、目から40～60cm離れるように設置してください。

ご使用上のお願い

- ・表示画面に照明や戸外の光が反射しないように設置してください。
- ・使用場所の明るさは、新聞を読む程度（約500ルクス）にしてください。
- ・表示画面と周囲の明るさ（書類やキーボードなど）との差をなるべく小さくしてください。

表示面を工具など固いものを当てたり、手で強く押したり、こすったりしないでください。

こわれたり、傷やシミがつく原因となります。

TFT液晶パネルについて

- ・TFT液晶パネルは、表示する条件により微小な斑点やムラが目立つ場合がありますが故障ではありません。
 - ・TFT液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られており、ごくわずかに画素欠けや常時点灯する画素が存在します。
- これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ 使用上の注意

強い磁界を発生する場所でのご使用はさけてください（高圧線、テレビ、ラジオ、モータ、電子レンジなどの近く）。

画面がゆれたり、傾いたりします。

パソコン本体より省電力機能を使用したり、解除した場合は液晶ディスプレイの画面の表示が乱れることがあります。

以下のようなことを行うと、塗装がはげることがありますのでご注意ください。

- ・キャビネットに、シンナー、ベンジン、殺虫剤などの揮発性のものをかける
- ・長時間ゴム、ビニール製品などを接触したままにしておく
- ・化学ぞうきんで拭く

本製品と接続するパソコン本体にインストールされたOSがプラグ&プレイ対応で、本製品の型番（IPC5033B）が登録されていないインフォメーションファイルを持っている場合、プラグアンドプレイモニターとして認識されます。この場合でも、本製品の仕様範囲内の解像度でご使用ください。

■ 画質について

画素ごとに交互に違う色や輝度を表示することによって、チラツキが発生することがあります。

接続されるパソコン本体によっては、キャラクタなどの線がにじんだ状態になったり、チラツキが発生する場合があります。

本機でサポートしている表示モード（プリセット）以外のタイミングを入力した場合、正常に表示されない場合があります。

この場合、パソコン本体にインストールされているOS上のリフレッシュレート、または表示解像度等を変更してください。

- 本機はSXGA（1280×1024ドット）に対応しています。
- SXGAをサポートしているパソコン本体で表示した場合でも、パソコン本体の設定表示数が多いと表示モードが変わる場合があります。パソコン本体の表示色を小さい値に設定すればSXGAモードになります。
- パソコン本体の表示モードをSXGAより大きく設定しても正しく表示されません。SXGAモード以下の解像度でご使用ください。
- 同一画面を長時間表示したまま放置しておくと、残像現象が現れることがありますが、画面の故障あるいは不良ではありません。電源をOFFにして、しばらく放置しておくと元に戻ります。スクリーンセーバーなどのソフトウェアをセットアップしてご使用になることをお勧めします。
- 本機のディスプレイ部に輝点（点灯したままの点）または黒点（点灯しない点）が存在することがありますが、故障あるいは不良ではありません。
- 本機はインターレス信号には対応していません。
- 本機は、使用時間の経過によって表示状態が少しずつ変化します。また、周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがあります。

■ USB機能について

本機のUSB出力ポートは1出力ポートあたり500mAまで供給できます。

ACアダプタを接続していない、または電源を切った状態でもパソコン本体側から1出力ポートあたり100mAまで供給できます。

USBデバイスの動作中に次の操作をすると入力信号が途切れ、USBデバイスによっては正常に動作しなくなることがあります。（USBデバイスの取扱説明書参照）

- 本機の電源スイッチを切る/入れる
- 本機のACアダプタを抜く/挿す

パソコン本体がUSBデバイスを検出しているときに次の操作をするとUSBデバイスを正しく検出できず、パソコン本体が正常に動作しなくなることがあります。

- 本機の電源スイッチを切る/入れる
- 本機のACアダプタを抜く/挿す

■ VCCI

本装置はVCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）基準に適合している製品ですが、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、テレビ、ラジオなどの障害が発生することがあります。テレビ、ラジオなどへの影響がある場合は、以下のことを試みてください。

- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの位置を変える
- ・テレビ、ラジオに対する本装置の位置を変える
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・受信機に屋外アンテナを使う
- ・平衡フィーダを同軸ケーブルに変える
- ・コンセントと機器の電源プラグの間に市販のフィルタを入れる

本装置をVCCIに適合していない機器と接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出やすくなりますので、ご注意ください。

ご使用上のお願い

■ 日常のお手入れ

お手入れの際は、必ず電源プラグをACコンセントから抜いてください。
通風口は定期的に清掃してください。
キャビネットの汚れはやわらかい布で拭いてください。
汚れがひどいときは、やわらかい布に水か中性洗剤を含ませ、固く絞って軽く拭いてください。
液晶画面は、時々やわらかい布で軽く払う程度に拭いてください。
傷つきやすいため、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。
もし、液晶画面に水滴が付着した場合は、脱脂綿ややわらかい布で拭いてください。
放置すると、変色やシミが付く原因となります。

■ 異常や故障の場合

以下のような場合は、ただちにパソコン本体およびディスプレイの電源を切り、電源プラグをACコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

- ・故障
- ・異常な臭いや過熱 ・異音
- ・正しく接続しているにもかかわらず表示されない
- ・煙が出る

ご自分で修理や改造、または分解しないでください。
火災や感電、ケガのおそれがあります。

■ 廃棄についてのお願い

本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

■ 用途制限について

本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発、制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

*1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。

（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）

本装置を、人の安全に關与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（*2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に關して、特別な配慮（*3）が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

*2：人の安全に關与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。

（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）

（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

*3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

■ 国内向けの仕様です

本製品の仕様は国内向けです。海外での保守サービスは行なっておりません。

また、本体付属の電源コードは、国内向けAC100Vの仕様なので海外では使用できません。

特長

- 大画面、高画質の18.1型ディスプレイ
- SXGA (1280×1024) 対応
- 高精度な自動調整機能
- スピーカーを内蔵
- USBハブを内蔵
- 2系統のパソコン本体からの入力端子を標準装備

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）です。この装置は、家庭環境で使用する事を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して、ご使用になると、受信障害の原因になることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

お願い

次のことをご承知ください

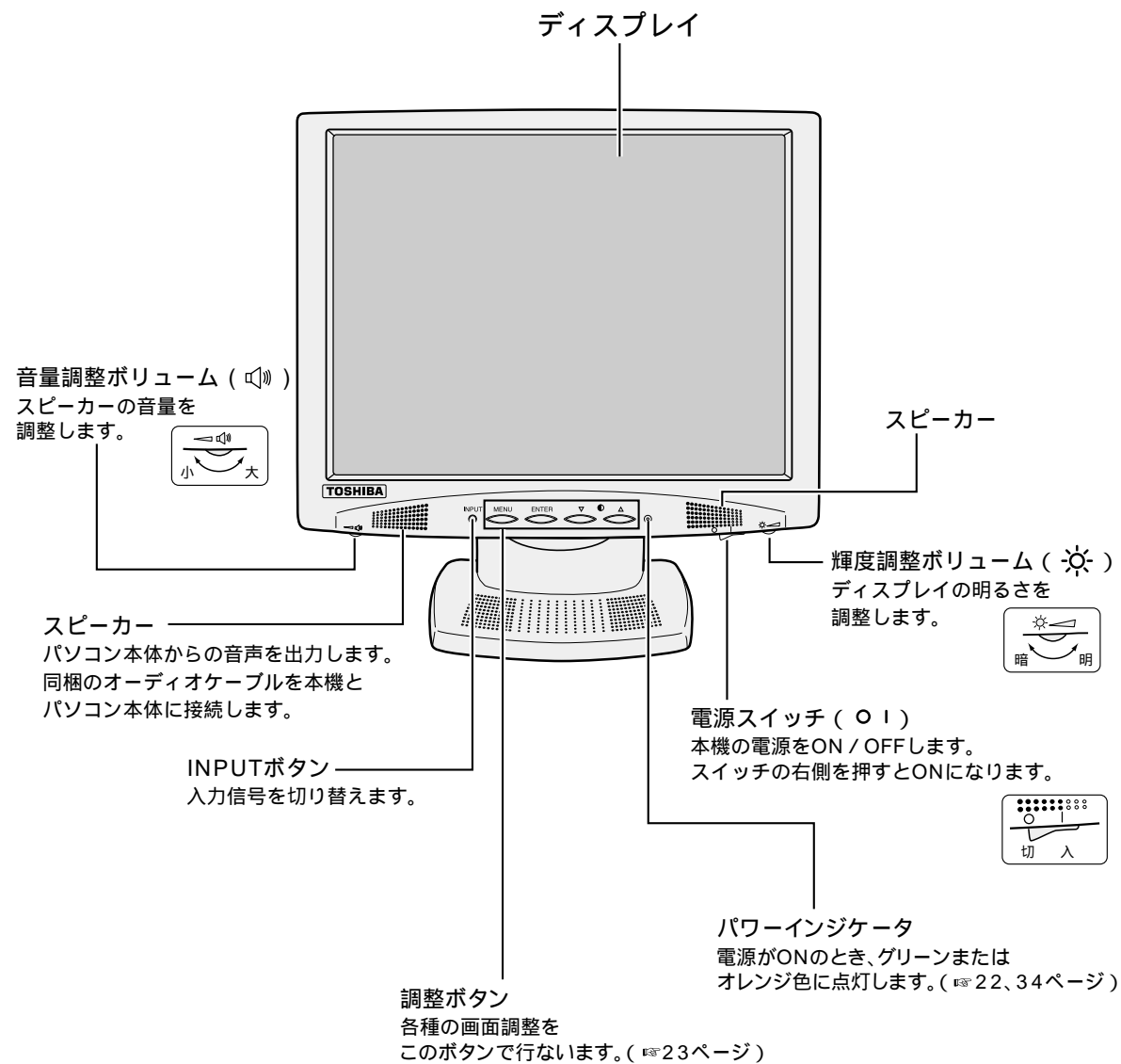
1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について、万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口（巻末参照）」までご一報ください。
4. 保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 5	全ての保存データを工場出荷時の値に戻す	33
ご使用上のお願ひ	6 ~ 10	パワーマネジメント機能	34
特長	11	パワーインジケータ	34
もくじ	12	プラグ&プレイ	34
		サウンド機能を使用する場合	35
		音量調整	35
		表示解像度の変更について	36
1 お使いになる前に		3 お手入れについて	
各部の名前とはたらき	13,14	お手入れについて	37
付属品の確認	15	4 故障かな？と思ったら	
本機の設置		次のことをご確認ください	38,39
スタンドカバーを取り外す	16	5 仕様	
本機をパソコン本体に接続する	17,18	プリセット表	40
本機のパソコン本体からの取りはずし	18	ケーブルピン配列	40
角度の調整	19	主な仕様	41
2 本機の使い方		6 アフターサービスについて	
2台のパソコン本体に接続する	20	修理サービスについて	42
接続について	20		
表示画面について	20		
USBについて	21		
電源の入れ方、切り方	22		
電源の入れ方	22		
電源の切り方	22		
画面の調整	23		
調整手順	24		
調整する前に	24		
調整手順（メニュー画面）	25		
自動で調整する（AUTO ADJUST）	25		
手動で調整する	26,27		
調整手順（サブメニュー画面）	28		
色レベルを調整する（COLOR）	29		
保存したデータを工場出荷時に戻す （RECALL）	30		
入力信号のデータを表示する （VIDEO MODE）	30		
黒レベルを調整する （BLACK LEVEL）	31		
OSDの言語を切り替える （LANGUAGE）	31		
その他の機能	32		
調整ボタンをロックする	32		
コントラストを調整する	32		

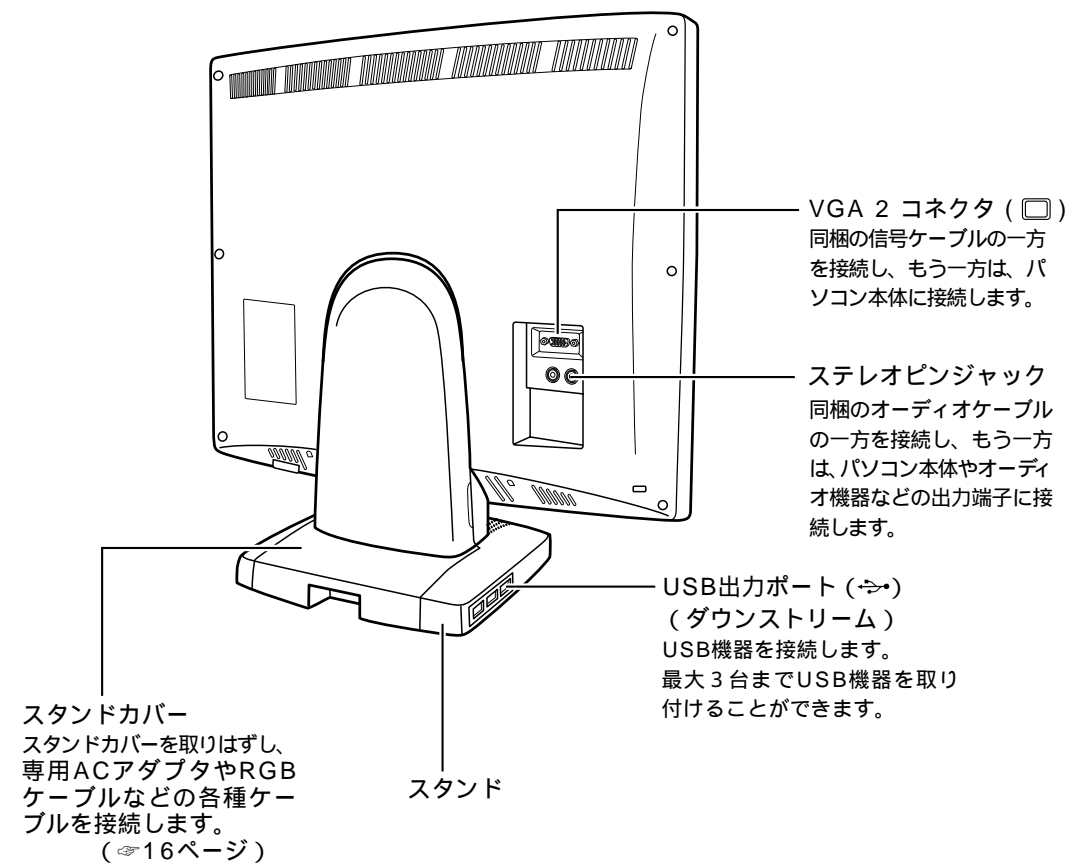
1 お使いになる前に 各部の名前とはたらき

前面



1 お使いになる前に

背面 / 左側面

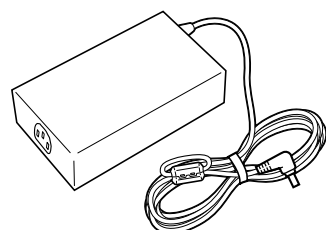


付属品の確認

付属品がそろっていることを確認してください。

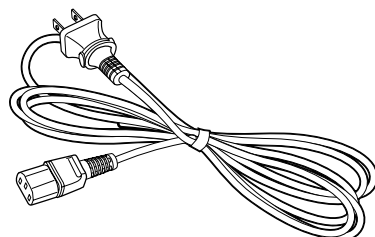
もし足りないものがあつた場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 専用ACアダプタ (1個)

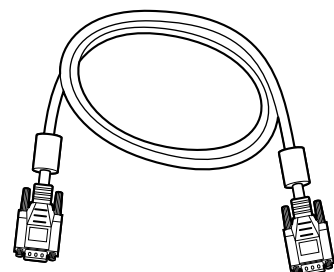


モデル名 : PSCV600101A

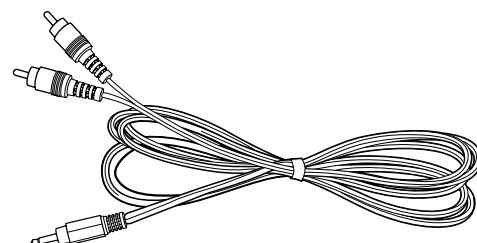
- ACコード (1本)



- 信号ケーブル (1本)



- オーディオケーブル (1本)



- USB ケーブル (1本)



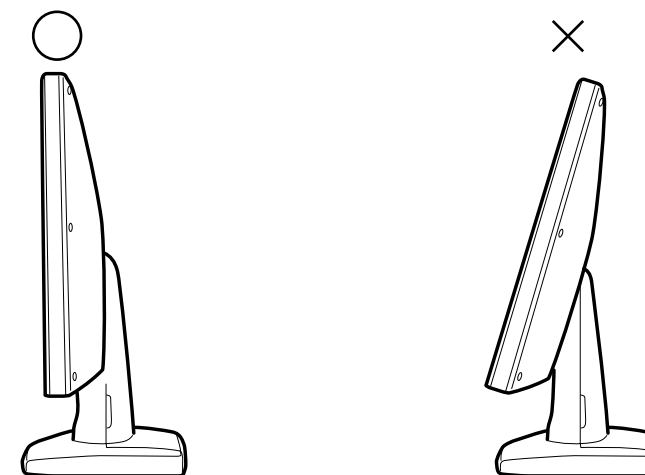
- 取扱説明書 (1部)

- 保証書 (1部)

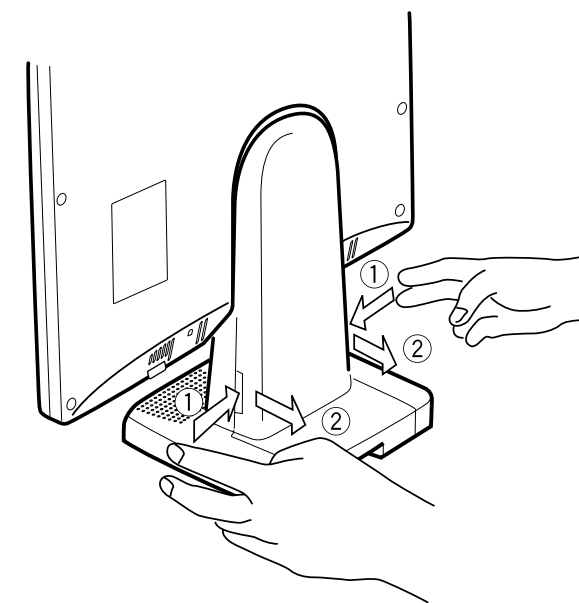
本機の設置

■ スタンドカバーを取り外す

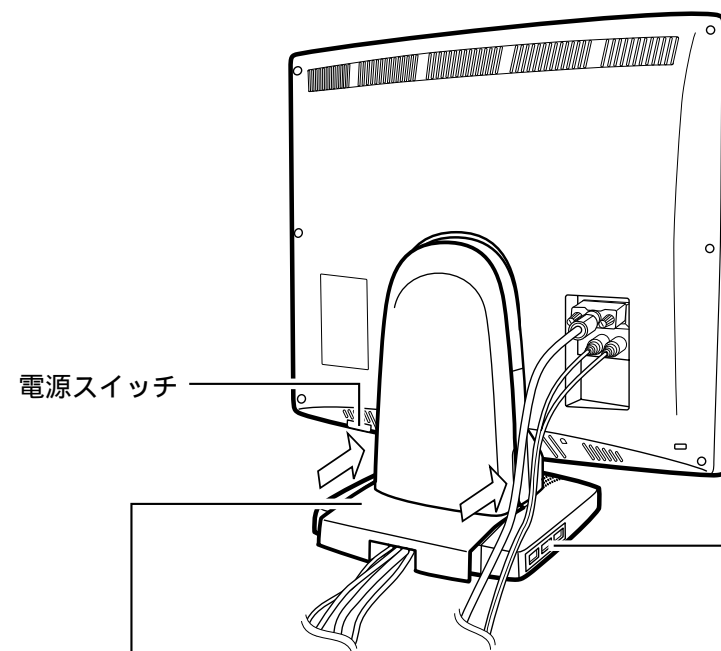
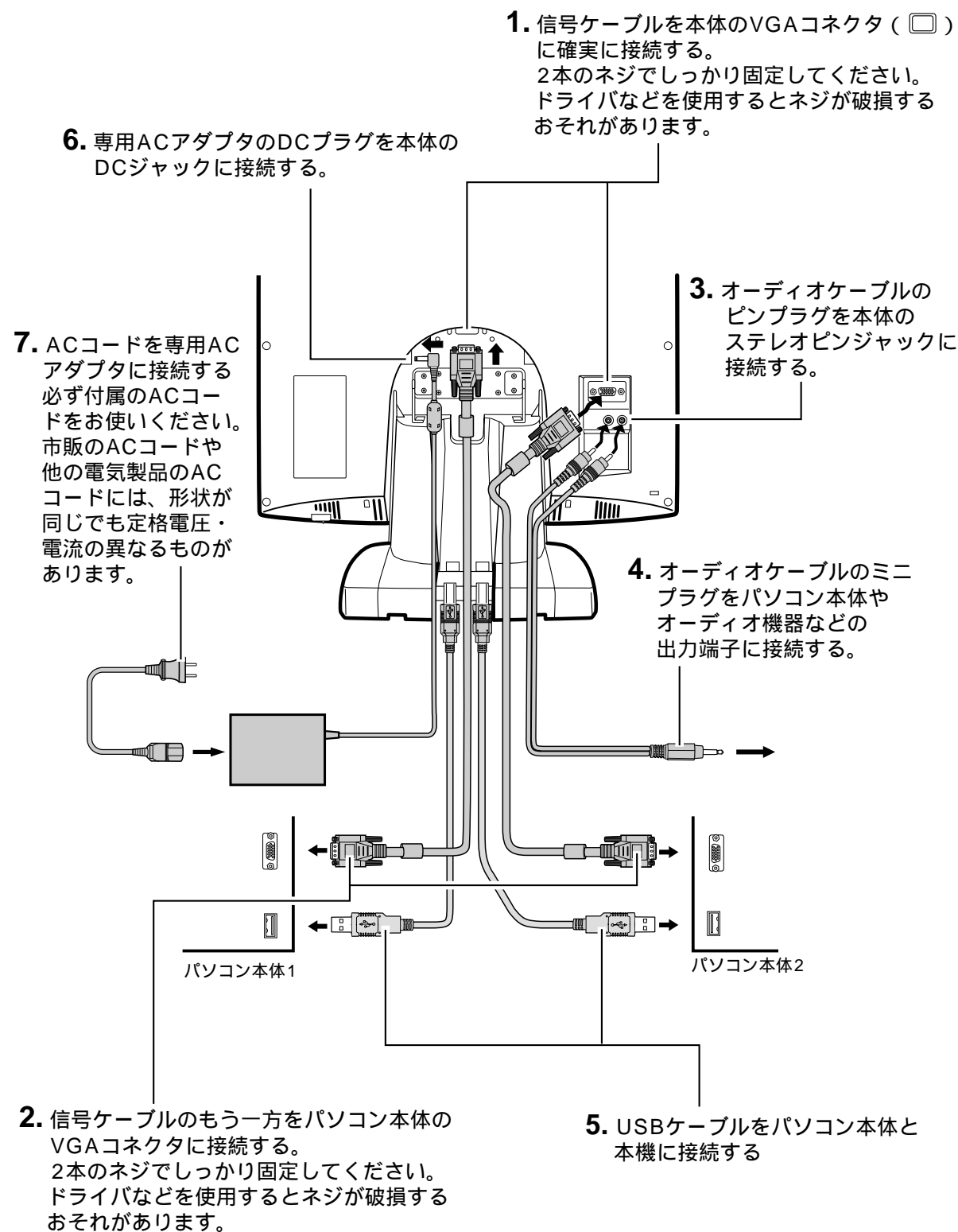
- 1 ディ스플레이部がまっすぐになっていることを確認します。



- 2 スタンドカバーの凹面に指をかけ、両手で 内側に押しながら 手前に引いて取り外します。



■ 本機をパソコン本体に接続する



8. スタンドカバーを取り付ける
スタンドカバーのつめを矢印方向に差し込みます。

🔊 お知らせ

スタンドカバーを取り付けるときには、各種ケーブルを挟まないようにご注意ください。

9. 電源スイッチを入れてから、パソコン本体を起動させる。

10. USB出力ポートにUSB対応の周辺機器を接続する

■ 本機のパソコン本体からの取りはずし

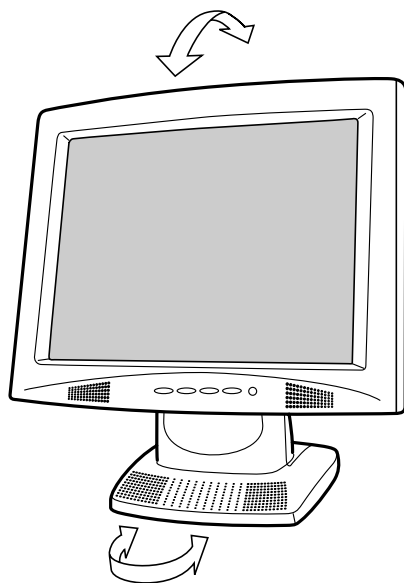
信号ケーブルなどの各種ケーブルを本機から取りはずす場合は、本機とパソコン本体の電源が「OFF」の状態になっていることを確認し、接続と逆の手順で行ってください。

⚠️ 注意!

信号ケーブルを本機、パソコン本体から取りはずす場合は、本機の信号ケーブルコネクタの2本のネジを手で確実に緩め、2本のネジがVGAコネクタからはずれた状態で取りはずしてください。緩める場合、2本のネジを強く押し込んだりしないようご注意ください。ネジがVGAコネクタに接続された状態で、信号ケーブルに負荷（無理に引っ張るなど）をかけると、信号ケーブルの破損、および、パソコン本体の故障の原因となります。

■ 角度の調整

ご使用時に表示を見ながら見やすい角度に調整してください。



スタンドは左右に回転します。

お知らせ

角度の調節を行なう場合は、両手で静かに動かしてください。
無理に動かしたり腕や肘でもたれかかたりしないでください。

2台のパソコン本体に接続する

本機は2台のパソコン本体を同時に使用することができます。
2台のパソコン本体にそれぞれ信号ケーブル及び USB ケーブルを接続し、
[INPUT] ボタンで切り替えながら使用します。

お知らせ

同梱されている信号ケーブル、USBケーブルは各1本です。2台のパソコン本体に接続する際は、販売店にご連絡の上お買い求めください。

■ 接続について

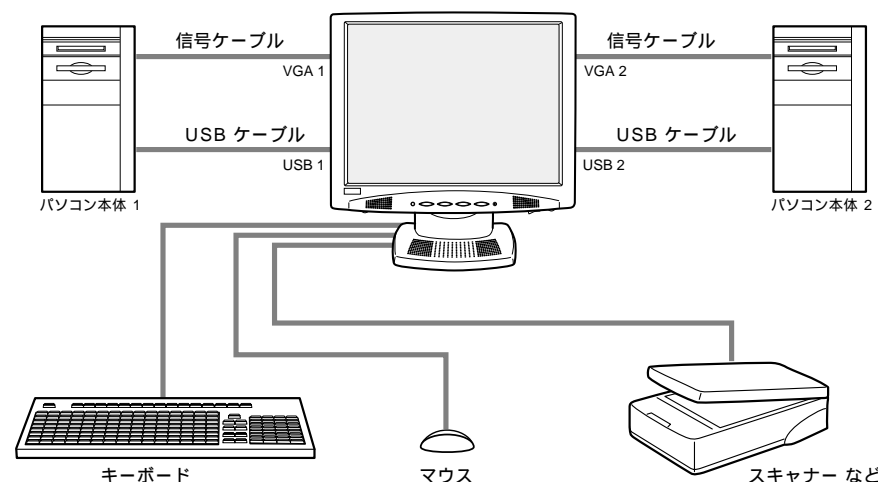
接続方法は17ページの「本機をパソコン本体に接続する」に記載しています。本機に2台のパソコン本体を同時に接続する際は、VGA1 と USB1 を1つのパソコン本体にVGA2 と USB2 を1つのパソコン本体に接続してください。USB のダウンストリームにはキーボード、マウス等、3台までの USB 周辺機器を接続できます。

お知らせ

VGA1に接続したパソコン本体でUSBを動かす場合、USBケーブルはUSB1のコネクタに、VGA2の場合はUSB2に接続してください。

お知らせ

USB対応の周辺機器のご使用については各周辺機器の取扱説明書をお読みください。



■ 表示画面について

工場出荷時には最初、VGA1 の画面を表示します。
VGA2 のコネクタに接続したパソコン本体の画面を表示させるには、
[INPUT] ボタンを押し、画面を切り替えてください。
電源を切り、再度電源を入れた時は、電源を切る前に表示していた側の画面を表示します。
VGA1 のコネクタに接続したパソコン本体の画面を表示すると、OSD にVGA1 と表示します。
VGA2 のコネクタに接続したパソコン本体の画面を表示すると、OSD にVGA2 と表示します。

お知らせ

[INPUT] ボタンは確実に押してください。ボタンを確実に押さないと画面が切り替わらないことがあります。

お知らせ

画面の調整はVGA1、VGA2のコネクタに接続したパソコン本体ごとに行なう必要があります。

注意!

パソコン本体を1台だけ接続した場合、[INPUT] ボタンで画面を切り替えても、もう一方のパソコン本体が接続されていないため "No Input..." "No Sync..." 表示後、何も表示しません。画面を再表示するには、再度 [INPUT] ボタンを押し、画面を切り替えてください。

画面が表示されない場合、パソコン本体がサスペンド(スタンバイ)モードになっている可能性があります。キーボード、マウスの操作でサスペンドモードから抜けてください。

■ USBについて

アップストリームポート（USB1、2）の動作

	USB1	USB2	
本機 電源ON		-	表示画面に関係なくUSB1のポート が動作
	-		表示画面に関係なくUSB2のポート が動作
			[INPUT] ボタンで選択したポート が動作
本機 電源OFF		-	USB1のポートが使用可能
	-		USB2のポートが使用可能
			USB1のポートのみ使用可能 1

お知らせ

USBハブ機能は、Windows 95では正常に動作しないことがあります。

お知らせ

電源を切った状態でも、1出力ポートあたり500mAまで専用ACアダプタから供給できます。専用ACアダプタを接続しない場合でも、1出力ポートあたり100mAまでパソコン本体から供給できます。

：接続
-：未接続

1...電源を入れるとUSBポートは電源を切る前のUSBポートに切り替わります。

注意!

USBデバイスの動作中に次の操作をすると入力信号が途切れ、USBデバイスによっては正常に動作しなくなることがあります。（USBデバイスの取扱説明書参照）

- [INPUT] ボタンでUSBポートを切り替える
- 本機の電源スイッチを切る/入れる
- 本機の専用ACアダプタを抜く/挿す

パソコン本体がUSBデバイスを検出しているときに次の操作をするとUSBデバイスを正しく検出できず、パソコン本体が正常に動作しなくなることがあります。

- [INPUT] ボタンでUSBポートを切り替える
- 本機の電源スイッチを切る/入れる
- 本機の専用ACアダプタを抜く/挿す

電源の入れ方、切り方

パソコン本体、および本機の電源の入れ方、切り方について説明します。操作を行なう前に、本機がパソコン本体に接続されていることを確認してください。

■ 電源の入れ方

注意!

パソコン本体の電源を入れる前には、音量調整ボリュームの音量が最小に調整されていることを確認してください。音量が大きく調整されることで、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になります。

1 本機がパソコン本体に接続されていることを確認する

2 本機の電源スイッチをONにする

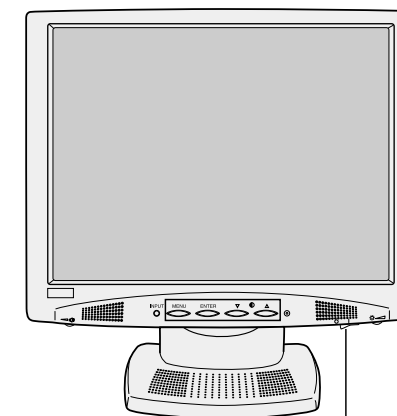
本機のパワーインジケータはオレンジ色に点灯します。

3 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れたとき、本機のパワーインジケータは緑色に点灯します。

お知らせ

パソコン本体の電源の入れ方については、各パソコン本体の取扱説明書を参照してください。



電源スイッチ (O I)

■ 電源の切り方

1 パソコン本体の電源を切る

パソコン本体の電源を切ったとき、本機のパワーインジケータは、オレンジ色に点灯します。

お知らせ

パソコン本体の電源の切り方については、各パソコン本体の取扱説明書を参照ください。

2 本機の電源スイッチをOFFにする

パワーインジケータは消灯します。

画面の調整

本機は、接続されるパソコン本体の信号を自動的に判断し、プリセットされたモードで画面を表示します。しかし、プリセットされていない場合には、もっとも近いモードで画面を表示します。その場合、接続されるパソコン本体に合わせた画面調整が必要です。画面の調整内容をOSD（オンスクリーンディスプレイ）で表示し、画面の調整をスムーズに行ないます。

前面パネルのボタンの名前とはたらき

[INPUT] ボタン	2台のパソコン本体の入力画面を切り替えます。
[MENU] ボタン	メニュー画面の表示のON / OFFを行ないます。
[ENTER] ボタン	調整項目の選択、調整内容の保存を行ないます。
[]、[] ボタン	調整項目への移動、調整数値の増減を行ないます。

調整項目

メニュー画面（25ページ～）

AUTO ADJUST	画面の調整を自動的に行ないます。
HOR. SIZE	表示の幅の調整を行ないます。
FOCUS	画面の乱れ・ちらつきを調整します。
HOR. POSITION	水平方向の表示位置の調整を行ないます。
VERT. POSITION	垂直方向の表示位置の調整を行ないます。

サブメニュー画面（28ページ～）

COLOR	赤、緑、青の色レベルの調整をします。
RECALL	調整した値を工場出荷時の値に戻します。
VIDEO MODE	入力信号のデータを表示します。
BLACK LEVEL	黒レベルの調整をします。
LANGUAGE	OSD の言語を切り替えます。

調整手順

調整する前に

本機がサポートしているパソコン本体のタイミングは40ページのプリセット表に記載されていますが、推奨する垂直周波数は60Hzです。（CRT モニターとは異なり垂直周波数を低く設定した方が安定した画面となります。）

接続するパソコン本体で変更できる場合は画面の調整を行なう前に、あらかじめリフレッシュレート変更で垂直周波数を60Hzに変更することをお勧めします。

画面サイズや周波数の変更などを行なった場合は、その都度画面の調整を行なってください。

1 Windows などの画面を表示する

本機をパソコン本体に接続後、パソコン本体を起動させ、明るい画面を表示させます。黒画面の場合、正しく調整されない場合があります。

DOSモードの場合、画面端が確認できるようなアプリケーション等（editなど）を実行させて調整してください。

2 調整モードに入る

[MENU] ボタンを押すと次のメニュー画面が表示されます。

AUTO ADJUST	←	自動で画面調整をする
HOR. SIZE	←	表示画面の幅を調整する
FOCUS	←	画面の乱れ、ちらつきを調整する
HOR. POSITION	←	水平方向の位置を調整する
VERT. POSITION	←	垂直方向の位置を調整する

[]、[] ボタンによりカーソルを移動し、調整項目を選択します。
[ENTER] ボタンを押すと選択された項目の調整画面が表示されます。

調整手順（メニュー画面）

■ 自動で調整する（AUTO ADJUST）

お使いのパソコン本体に合わせ、適切な画面を自動で調整します。

次の調整手順に従って調整してください。

1. メニュー画面より AUTO ADJUST を選択する

```
AUTO ADJUST
ENTER  → EXECUTE
MENU   → CANCEL
```

2. [ENTER] ボタンを押す
自動調整を開始します。

```
AUTO ADJUST
```

3. 自動調整が正常に終了する

```
COMPLETE
```

自動調整で設定した値を保存し、メニュー画面が消えます。

2. [MENU] ボタンを押す
自動調整を行わず、メニュー画面に戻ります。

3. 自動調整が正常に終了しない

```
FAILED
RETRY OR SEE USER'S GUIDE
```

[MENU] ボタンを押しメニュー画面に戻り再度 AUTO ADJUST を行なうか、手動で微調整を行ないます。（26ページ）

■ 手動で調整する

自動調整を実行しても、接続するパソコン本体によっては正しく画面調整されない場合があります。そのような場合には、次の手順に従って調整を行なってください。

1 左右の画面の幅を調整する

1. メニュー画面より HOR.SIZE を選択する。

(例)

```
HOR. SIZE  NARROW  ◀▶  WIDE
                                     1344
```

2. [] ボタンで調整する。

[] ボタンを押すと数値が上がり、表示の幅が広がります。

[] ボタンを押すと数値が下がり、表示の幅が狭くなります。

3. [ENTER] ボタンを押す、調整内容を保存しメニュー画面に戻る。

[MENU] ボタンを押すと、調整内容を保存せず調整前の設定値でメニュー画面に戻ります。

2 画面の乱れ・ちらつきを調整する

1. メニュー画面より FOCUS を選択する。

(例)

```
FOCUS  |-----|
                                     0
```

2. 小さな文字がはっきり見えるように、[I] ボタンにより調整する。

3. [ENTER] ボタンを押す、調整内容を保存しメニュー画面に戻る。

[MENU] ボタンを押すと、調整内容を保存せず調整前の設定値でメニュー画面に戻ります。

3 左右の表示位置を調整する

1. メニュー画面より HOR.POSITION を選択する。

HOR. POSITION LEFT  RIGHT

2. [] ボタンで調整する。
 [] ボタンを押すと画面が右に移動します。
 [] ボタンを押すと画面が左に移動します。
3. [ENTER] ボタンを押し、調整内容を保存しメニュー画面に戻る。
 [MENU] ボタンを押すと、調整内容を保存せず調整前の設定値でメニュー画面に戻ります。

4 上下の表示位置を調整する

1. メニュー画面より VERT.POSITION を選択する。

VERT. POSITION DOWN  UP

2. [] ボタンで調整する。
 [] ボタンを押すと画面が上に移動します。
 [] ボタンを押すと画面が下に移動します。
3. [ENTER] ボタンを押し、調整内容を保存しメニュー画面に戻る。
 [MENU] ボタンを押すと、調整内容を保存せず調整前の設定値でメニュー画面に戻ります。

5 メニュー画面を消す

メニュー画面を表示しているときに、[MENU] ボタンを2回押し、メニュー画面を消す。

お知らせ

各項目を調整中に約20秒間調整ボタンを押さなかった場合、OSDは自動的に消えます。電源を切るまではそのままの値で表示しますが、いったん電源を切ると調整前の値に戻ります。

調整手順（サブメニュー画面）

ここでは調整の流れを示します。

1 サブメニュー画面を表示する

メニュー画面が表示されているときに、[MENU] ボタンを押すと次のサブメニュー画面が表示されます。

COLOR	←	赤、緑、青の色レベルを調整します。
RECALL	←	調整した全ての値をお買い上げ時に戻します。
VIDEO MODE	←	入力信号のデータを表示します。
BLACK LEVEL	←	黒レベルを調整します。
LANGUAGE ENGLISH	←	OSD の言語を切り替えます。

2 調整項目を選択する

サブメニュー画面のカーソルを [] [] ボタンで移動し [ENTER] ボタンで選択します。

3 調整または設定をする

選択した項目ごとに [] [] ボタンで調整、または設定を行ないます。調整、または設定終了後、[ENTER] ボタンで保存します。
 (各項目の詳しい手順は29ページ以降をご覧ください。)

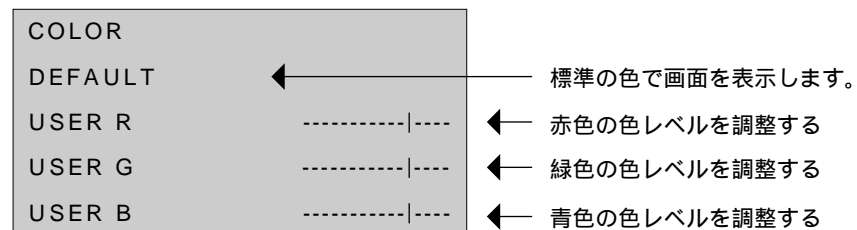
4 サブメニュー画面を消す

サブメニュー画面を表示しているときに、[MENU] ボタンを押すと、サブメニュー画面が消えます。
 約20秒間何もボタンを押さないと自動的にサブメニュー画面が消えます。

■ 色レベルを調整する (COLOR)

表示した画面で適切な色合いが得られなかった場合、ユーザーモードにより各色レベル(赤、緑、青)を手動で調整します。ここで設定した値はすべてのモードに適用されます。

1. サブメニュー画面より COLOR を選択する。



2. [] [] ボタンでカーソルを移動し、[ENTER] ボタンを押す。

「DEFAULT」を選択すると、標準の色で画面を表示しサブメニュー画面に戻ります。
「USER」を選択すると表示色がユーザーモードに切り替わります。



3. [] [] ボタンで色レベルを調整し、[ENTER] ボタンで保存する。

4. 全ての調整が終わったら [MENU] ボタンを押しサブメニュー画面に戻る。

■ 保存したデータを工場出荷時に戻す (RECALL)

表示しているモードで調整した値を工場出荷時の値に戻します。

1. サブメニュー画面より RECALL を選択する。



2. [ENTER] または [MENU] ボタンを押す。

[ENTER] ボタンを押すと、調整した値を全て工場出荷時の値に戻しサブメニュー画面に戻ります。
[MENU] ボタンを押すと、そのままサブメニュー画面に戻ります。

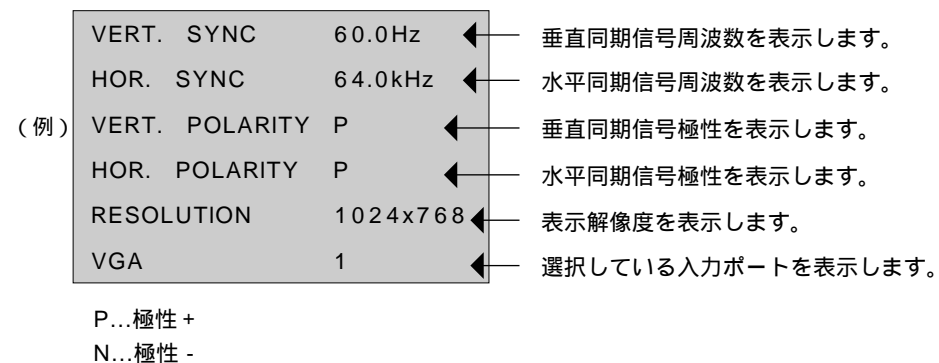
お知らせ

COLOR のUSERモードは、工場出荷時の値に戻りません。
COLOR のUSERモードを工場出荷時に戻すには、手動で22に設定してください。
(29ページ、色レベルを調整する)

■ 入力信号のデータを表示する (VIDEO MODE)

現在の画面モードの情報を表示します。

1. サブメニュー画面より VIDEO MODE を選択する。



2. [MENU] または、[ENTER] ボタンを押しサブメニュー画面に戻る。

■ 黒レベルを調整する (BLACK LEVEL)

画面全体の黒レベルを調整します。ここで設定した値はすべてのモードに適応されます。

1. サブメニュー画面より BLACK LEVEL を選択する。



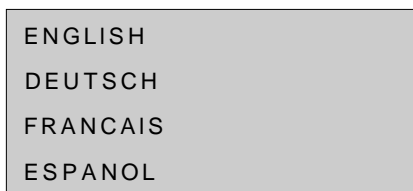
2. [] [] ボタンにより調整する。

3. [ENTER] ボタンを押し、調整内容を保存しサブメニュー画面に戻る。
[MENU] ボタンを押すと、調整内容を保存せず調整前の設定値でサブメニュー画面に戻ります。

■ OSD の言語を切り替える (LANGUAGE)

必要に応じて OSD の言語を切り替えることができます。

1. サブメニュー画面より LANGUAGE を選択する。



2. [] [] ボタンを押し、言語を選ぶ

3. [ENTER] ボタンで保存する。
OSD 言語が変更され、OSD が消えます。
[MENU] ボタンを押すと、選択する前の設定でサブメニュー画面に戻ります。

その他の機能

■ 調整ボタンをロックする

画面調整が終了した後、調整ボタンをロックし他人が操作できないようにします。

1. [MENU] [] [] ボタンを同時に押しながら、電源スイッチを ON にする。



この後、調整ボタンを押しても、上の画面が表示され、調整ボタンが操作できなくなります。この設定は電源を切っても保持されます。設定を解除するには、再度同じ3つのボタンを同時に押しながら電源を入れ直します。

お知らせ

[INPUT] ボタンはロックすることができません。

■ コントラストを調整する

画面全体のコントラストを調整します。
ここで設定した値は全てのモードに適応されます。

1. OSD を表示していないときに、直接 [] または、[] ボタンを押す。



- [] ボタンを押すと、画面全体が明るくなります。
- [] ボタンを押すと、画面全体が暗くなります。

2. [ENTER] ボタンを押し、調整内容を保存する。
[MENU] ボタンを押すと、調整内容を保存せず調整前の設定値で表示し、OSD が消えます。

お知らせ

調整中、約10秒間調整ボタンを押さなかった場合、OSDは自動的に消えます。
電源を切るまではそのままの値で表示しますが、いったん電源を切ると調整前の値に戻ります。

■ 全ての保存データを工場出荷時の値に戻す

保存したデータを全て削除し、工場出荷時の値に戻します。
しかし、他のモードで設定した保存データも工場出荷時の値に戻ってしまうため、あまりお勧めしません。

1. メニュー画面を表示中に[ENTER]ボタンと[MENU]ボタンを同時に押す。
保存したデータを削除するかどうかの確認画面を表示します。

```
CLEAR PARAMETERS
CLEAR
ABORT
```

2. [] [] ボタンにより、CLEAR または ABORT を選択し[ENTER] ボタンを押す。

「CLEAR」を選択すると、全ての保存データを削除します。

「ABORT」を選択すると保存データを削除せず、そのまま終了します。

■ パワーマネジメント機能

本機の電源を入れたままでも、パソコン本体を使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

本機のパワーマネジメント機能を動作させるためには、VESA の DPMS 規格に適合したパソコン本体を接続して使用する必要があります。

VESA は Video Electronic Standard Association の略です。
DPMS は、Display Power Management Signaling の略です。

■ パワーインジケータ

本機は、入力信号の状態を LED の表示によって示しています。

グリーン	点灯	入力信号あり
オレンジ	点灯	スタンバイ（水平または垂直同期信号なし） 信号ケーブル未接続（水平および垂直同期信号なし）
消灯		電源オフ

■ プラグ & プレイ

本機は VESA の DDC1 及び DDC2B 規格に対応しています。

本機のDDC機能を動作させるためには、VESA の DDC 規格に適合したパソコン本体を接続して使用する必要があります。

DDC は Display Data Channel の略です。
DDC は、VESA の登録商標です。

■ サウンド機能を使用する場合

パソコン本体からサウンド（WAVデータ等）を聴く場合

パソコン本体をオーディオケーブルを使って、本機に接続してサウンドを聴くことができます。

以下の手順にて接続してください。ここでは、概要として簡単に説明します。

1. オーディオケーブルの一方を本機のステレオピンジャックへ接続する
2. オーディオケーブルのもう一方をパソコン本体のラインアウト端子へ接続する

オーディオ機器(LINE OUT端子付)からサウンドを聴く場合

オーディオ機器をオーディオケーブルを使って、本機に接続してサウンドを聴くことができます。

以下の手順にて接続してください。ここでは、概要として簡単に説明します。

1. オーディオケーブルの一方を本機のステレオピンジャックへ接続する
2. オーディオケーブルのもう一方をオーディオ機器のラインアウト端子へ接続する

■ 音量調整

OS上のボリュームコントロール、コンピュータの音量

音量の調整は、以下の方法で調整を行います。

OS上のボリュームコントロールで調整

本機の音量調整ボリュームで調整

手順として、 の順に調整を行ってください。

パソコン本体側でボリュームを調整の際、OS上にある「ボリュームコントロール」、パソコン本体のボリューム（ある場合）で調整を行います。

ただし、パソコン本体には、サウンドカード搭載のものがが必要です。

お知らせ

「ボリュームコントロール」を使っでの調整方法については、OSにより異なる場合があります。詳細については、各OS上にあるヘルプを参照のうえ、操作してください。

オーディオ機器を取り付けている場合

オーディオ機器を取り付けている場合は、各オーディオ機器の取扱説明書を参照のうえ、各オーディオ機器のボリュームを調整してください。

お知らせ

オーディオ機器のボリュームがミュートの場合、本機のスピーカー、およびヘッドホン端子に接続されたヘッドホンから音声は出力されません。

■ 表示解像度の変更について

表示解像度やリフレッシュレートの変更の際は、本機にサポートしている設定にしてください。

サポートしている表示解像度、リフレッシュレートについては、「**5** 仕様、プリセット表」を参照してください。

注意

サポートしていない表示解像度やリフレッシュレートを設定すると、正常に表示しなかったり、本機の故障の原因となります。

表示解像度の変更方法について

パソコン本体にインストールされているOS上より表示解像度の変更を行うことができます。

設定方法についてはOSにより異なることがあります。

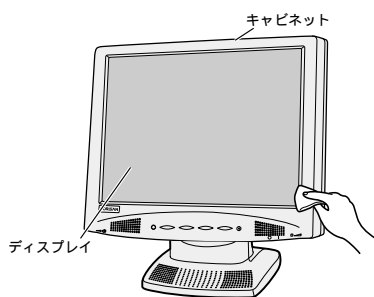
詳細については、パソコン本体の取扱説明書や各OS上にあるヘルプを参照のうえ、操作してください。

注意

本機の最大解像度は、1280×1024画素までです。表示解像度の設定で、1280×1024画素を越えないようご注意ください。

お手入れについて

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、全てのケーブルを本機からはずしてください。



キャビネット

- やわらかい布に水か中性洗剤を含ませ、固く絞って拭き取ってください。
- シンナーやベンジンなどは、表面を傷めますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用されるときは、その注意書きに従ってください。

ディスプレイ

- ほこりがついている場合は軽く払う程度に乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は柔らかい布にエチルアルコールやイソプロピルアルコールを染み込ませ軽く拭き取ってください。
- 水拭きは避けてください。
- 唾液や水などを落とした場合、ディスプレイ表面の品質、変色の原因となることがあるので、速やかに拭き取ってください。
- アセトン、トルエンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ポールペンやドライパーなどの先のとがったものでこすらないでください。

次のことをお確かめください

修理を依頼される前に次のことをもう一度確認してください。
それでも正常に動作しないときには、使用を中止して電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店までご連絡ください。

症 状	チェック	処 置	ページ
パワーインジケータが点灯しない	電源は入っていますか?	電源コンセント、DC ジャックの接続、電源スイッチを確認してください。	17
	専用ACアダプタが破損(断線)していませんか?	専用ACアダプタが破損(断線)されているおそれがありますので、ただちにパソコン本体および本機の電源を切り、専用ACアダプタを確認してください。破損(断線)している場合は、販売店、または巻末の「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口」にご連絡ください。	-
画像が映らない (パワーインジケータグリーン点灯時)	パソコン本体のスクリーンセーバーなどの画面焼付き防止ソフトウェアが働いていませんか?	マウスやキーボードを触ってスクリーンセーバーを終了させてください。	-
	輝度調整を行なっていますか?	輝度調整を変えて画面を確認してください。	13
画像が映らない (パワーインジケータオレンジ点灯時)	パソコン本体の電源は入っていますか?	パソコン本体の電源を確認してください。	-
	信号ケーブルが確実に接続されていますか?	信号ケーブルの接続を確認してください。	17
	パソコン本体が省電力モードになっていませんか?	パソコン本体を操作し、省電力モードを解除してください。	-
	入力信号ポートは正しく選択されていますか?	INPUT ボタンを押して画面を切り替えてください。	13
画像が映らない (Signal Frequency Out of Range change Input Signal Timingが表示される)	パソコン本体の信号タイミング(水平または垂直同期信号)が本機の仕様範囲を越えていませんか?	パソコン本体のマニュアルを確認して、本機仕様の範囲内に入るように信号タイミングを変更してください。	41
画面の表示範囲が正しくない	パソコン本体の画面サイズは正しく設定されていますか?	パソコン本体の画面サイズの再設定を行なってください。	-
画面の一部が欠けている	画面は正しく調整されていますか?	画面調整を正しく行なってください。	23
画像が乱れる	信号ケーブルが確実に接続されていますか?	信号ケーブルの接続を確認してください。	17
	画面は正しく調整されていますか?	画面調整を正しく行なってください。	23
	パソコン本体の信号タイミング(水平または垂直同期信号)が本機の仕様に合っていますか?	パソコン本体の仕様を確認してください。	41

症 状	チェック	処 置	ページ
音が出ない	オーディオケーブルは確実に接続されていますか？	オーディオケーブルの接続を確認してください。	17
	OS上のボリュームコントロールで音量がミュートになっていませんか？	OS上のボリュームコントロールで音量がミュートの状態になっていないことを確認してください。	35
	音量調整ボリューム調整が最小になっていませんか？	つまみを適切な位置に調整してください。	13
	接続したオーディオ機器の音量等の設定は適切ですか？	オーディオ機器のマニュアルを参照してください。	—
USB デバイスが動作しない(パソコン本体が USB ハブを検出しない)	本機とパソコン本体は USB ケーブルで確実に接続されていますか？	USB ケーブルの接続を確認してください。	17、20
	接続するタイミングによってはパソコン本体が USB ハブを検出しないことがあります。	再度 USB ケーブルを接続しなおしてください。	—
	接続するパソコン本体で使用する OS のバージョンによっては USB に対応していないことがあります。	パソコン本体および OS のマニュアルを参照して USB に対応していることを確認してください。	—
USB デバイスが動作しない(パソコン本体が USB デバイスを検出しない)	USB デバイスのドライバは正常にインストールされていますか？	USB デバイスのマニュアルを参照して再度インストールしてください。	—

USB が検出されているか確認するには

「スタート」ボタンをクリックして「設定」をポイントし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」の「システム」をクリックし、「システムのプロパティ」を表示します。

Windows 98/Meの場合

- ・「デバイスマネージャ」のタブをクリックし、それぞれの USB デバイスのアイコンと「ユニバーサル・シリアル・バス・コントローラ」の下に表示される「汎用 USB ハブ」のアイコンで状態を確認します。

Windows 2000の場合

- ・「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- ・USBデバイスのアイコンと「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下に表示される「汎用USBハブ」のアイコンで状態を確認します。

それぞれのアイコンに、！または×がついていれば正常に検出されていません。

！または×を取り除くためにはパソコン本体、またはそれぞれのデバイスの取扱説明書を参照してください。



図はWindows98/Me用です。

プリセット表

本機にはお買い上げ時にあらかじめ下記の17種類のタイミングが設定されています。

この他に24種類までのタイミングを記憶することができます。

パソコン本体の同期信号により、自動的にタイミングを判断し適切な画面を表示します。

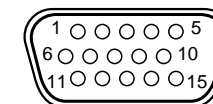
番号	解像度	種類	垂直周波数	水平周波数	ドットクロック
1	640 x 350 ドット	IBM VGA	70.0863 Hz	31.469 kHz	25.175MHz
2	640 x 400 ドット	PC98シリーズ	56.43 Hz	24.83 kHz	21.05MHz
3	640 x 400 ドット	IBM VGA	70.0863 Hz	31.469 kHz	25.175MHz
4	640 x 480 ドット	VESA VGA	75 Hz	37.5 kHz	31.5MHz
5	640 x 480 ドット	VESA VGA	59.9405 Hz	31.469 kHz	25.175MHz
6	640 x 480 ドット	VESA VGA	72.809 Hz	37.861 kHz	31.5MHz
7	800 x 600 ドット	VESA SVGA	75 Hz	46.875 kHz	49.5MHz
8	800 x 600 ドット	VESA SVGA	72.188 Hz	48.077 kHz	50MHz
9	800 x 600 ドット	VESA SVGA	60.313 Hz	37.879 kHz	40MHz
10	800 x 600 ドット	VESA SVGA	56.25 Hz	35.156 kHz	36MHz
11	832 x 624 ドット	Macintosh	74.55 Hz	49.725 kHz	57.28MHz
12	1024 x 768 ドット	VESA XGA	75.03 Hz	60.032 kHz	78.75MHz
13	1024 x 768 ドット	VESA XGA	70.07 Hz	56.476 kHz	75MHz
14	1024 x 768 ドット	VESA XGA	60 Hz	48.363 kHz	65MHz
15	1152 x 870 ドット	Macintosh	75.30 Hz	68.82 kHz	100.0MHz
16	1280 x 1024 ドット	VESA SXGA	75.025 Hz	79.976kHz	135MHz
17	1280 x 1024 ドット	VESA SXGA	60.02Hz	63.981kHz	108MHz

ケーブルピン配列

RGB入力：15ピンミニD-SUB

No.	信号名	No.	信号名	No.	信号名
1	赤映像信号	6	赤映像信号用 GND	11	—
2	緑映像信号	7	緑映像信号用 GND	12	DDC データ信号
3	青映像信号	8	青映像信号用 GND	13	水平同期信号
4	—	9	—	14	垂直同期信号
5	DDC GND	10	GND	15	DDC クロック信号

VESAによるDDC規格



ケーブルピン配列

表示部

液晶パネル	18.1型 TFT
画像サイズ	359 x 287.2 mm
表示解像度	1,280 x 1,024 (SXGA)
画素ピッチ	0.2805 x 0.2805 mm
輝度	200 cd/m ²
応答速度	25ms
視野角	上 85度、下 85度、右 85度、左 85度
コントラスト比	350 : 1

ビデオ

入力方式	アナログRGB 2入力切り替え
同期信号	セパレート同期 (水平/垂直) TTLレベル (+ / -)
コネクタ	15ピン ミニD-SUB x 2
水平同期信号	24.83 ~ 80.00 kHz
垂直同期信号	56.25 ~ 75.3 Hz
ドットクロック	21.05 ~ 135 MHz
表示色	1,677万色
OSD言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語
プラグ&プレイ	VESA DDC1, DDC2B
パワーマネジメント	VESA DPMS

USB

インターフェイス	USB 規格Rev.1.1準拠 セルフパワー / バスパワー
コネクタ	アップストリーム x 2、ダウンストリーム x 3

オーディオ

ライン入力	ステレオミニジャック
ヘッドホン	ステレオミニジャック
スピーカー	ステレオスピーカー (1W x 2)

その他

外形寸法	446 (幅) x 436 (高さ) x 199 (奥行き) mm		
重量	7.8 kg		
環境条件	保証温度	動作温度 : 5 ~ 35 保存温度 : - 20 ~ 60	
	湿度	30% ~ 85% RH (結露なきこと)	
電源 / ACアダプタ	モデル名	PSCV600101A	
	入力	100-240VAC 1.4A-0.7A 50/60Hz	
	出力	DC15V 4A	
消費電力	47W 標準 (省電力時 5W)		

上記周波数範囲を超えた信号が入力された場合、表示できない場合があります。
パソコン本体のマニュアルを確認して画面のプロパティで表示モードを変更する、またはリフレッシュレート変更で垂直周波数を変更できる場合は、上記周波数範囲に入るように変更してご使用ください。
本機の仕様および外観は性能改善により、予告なく変更することがあります。

異常や故障が発生したら、次の ~ の内容をご確認のうえ、「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口 (巻末を参照してください)」までご連絡ください。

使用している機器の名称
ご購入年月日、ご購入先
現在の状態 (できるだけ詳細に)

保証期間中の修理については、保証書の記載内容により、無料修理いたします。

保証期間経過後の修理については、「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口 (巻末を参照してください)」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。(修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります)

海外での修理サービスについて

本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。

郵送で修理依頼される場合のお願い

- ・郵送される場合の郵送料金、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担となります。
 - ・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
 - ・保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。
1. 修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール (本製品の梱包箱、梱包材を推奨します) などに入れて、破損しないようご注意のうえ、お送りください。
 2. 郵送は簡易書留をご利用ください。

送付先

東芝PCサービス・サポート事業部
I O Sセンター

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-8-13 東芝秋葉原ビル1F
電話 03-3252-3063

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。

This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

この製品のご使用上のお問い合わせ窓口

受付時間

9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く

東芝 P C I O S センター

TEL 03-3252-3063

FAX 03-3257-3405

TFT液晶ディスプレイ18.1型・B取扱説明書

2001年4月
発行

A 1 版発行

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社
P C サービス・サポート事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
<http://www5.toshiba.co.jp/pcss/>

©2001 TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED 無断複製および転載を禁ず